

固体化MPレーダ ㈱東芝小向事業所

市内で研究開発、最終製品製造



■ 製品・技術等の概要

ゲリラ豪雨や突風の原因となる積乱雲の内部を高精細に観測できる気象レーダであり、小型化、商用電源での稼動などのニーズに対応

■ 先進性・独自性等

従来型と比較し1／5に小型化したほか、送信部の固体化などにより電力使用量削減を実現し、CO₂削減に貢献

■ 域外貢献量の算定時に比較した製品・技術等

従来型の気象レーダ（クライストロン：電子管）システム

■ 算定条件（機能単位）

15年間、24時間、365日の気象状況の観測

■ 域外貢献量

7.71 × 10² t - CO₂（CO₂換算）（製品使用年数15年間）

■ 機能単位あたりのライフサイクルCO₂削減量

3.86 × 10² t - CO₂（CO₂換算）